

開講期	2025年度後期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	5302 日本文学序論2			開講形態（隔週 偶数＝隔週2コマ）	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	○	全学開講	○
曜日時限	火曜2限				
教室	D204教室				
代表教員	西田 桐子				
担当教員	西田 桐子				
テーマと到達目標	副題：近代文学の「私」と「他者」 人はなぜ「文学」を必要とするのだろうか？日本の近現代文学における中心的なテーマとされる「私」の探究とは、視点を変えれば「他者」との関係の模索である。日本文学に登場する様々な「他者」の存在について知るとともに、文学者たちが「他者」をいかに描いたのかを探究することを通して、「私たち」自身がいかに「他者」と生きていくのかということについても考えていこう。				
概要	明治期以降の日本語で書かれた文学作品を、「他者」の表象に着目して読んでいく。歴史的背景、ジャンル、文体などに注意を払いながら、作者と作品の概要を解説していくと同時に、作品を分析する際の様々な視点や手法について学ぶ。毎回の授業でリアクションペーパーを始めとする提出物に取り組み、期末レポートでは、作品を一つ選び論じてもらう。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	イントロダクションー「私小説」と近代的自我				対面授業
第2回	異国の女を描くー森鴎外『舞姫』				対面授業
第3回	夢見ている「私」は「私」かー夏目漱石『夢十夜』				対面授業
第4回	「狂人」の語ること、もしくは諷刺ー芥川龍之介『河童』				対面授業
第5回	話す動物ー宮澤賢治「狼森と笹森、盗森」				対面授業
第6回	神が歌う声は何語？ー知里幸恵『アイヌ神謡集』				対面授業
第7回	植物を詠むー萩原朔太郎『月に吠える』				対面授業
第8回	メタフィクションの「私」ー夢野久作『ドグラ・マグラ』				対面授業
第9回	魅力と被虐ー谷崎潤一郎『痴人の愛』				対面授業
第10回	セクシュアリティを巡る葛藤ー三島由紀夫『仮面の告白』				対面授業
第11回	若い娘という物体ー川端康成『眠れる美女』				対面授業
第12回	関係の暴力性ー大江健三郎「飼育」				対面授業
第13回	沖縄とアメリカー大城立裕『カクテル・パーティー』				対面授業
第14回	異人種間恋愛を描くー山田詠美『ベッド・タイム・アイズ』				対面授業
第15回	虚構の「私」ー筒井康隆『夢の木坂分岐点』				対面授業
成績評価の基準	授業内提出物60％ 期末レポート40％				
履修にあたっての留意事項	暴力的、性的、差別的な表現や描写など、刺激的な内容や映像を授業中に提示する可能性がある。 扱う作品やトピックは、授業の進行状況と受講者の関心に従って、随時変更する。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限（抽選）授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用			
教科書	配布するプリントを中心に、授業を進める。	教科書(ISBN)	
参考文献	授業中に指示する。授業では広範な作品に言及するので、期末レポートに向け、興味をもった作品等については、それぞれの受講者が率先して読み進めてもらいたい。	参考文献(ISBN)	